

淀川水系河川整備計画策定に向けて の説明資料(第1稿)

委員からの質問の回答

利水

平成15年3月8日

0

委員からの質問の回答

- 全体に関する事項で利水にも関係する事項
例:「実施」、「見直し」、「検討」
- 利水に関する質問・意見

1

整備計画策定に向けて

- (1) 水需要の精査確認
- (2) 用途間転用に係る関係機関との調整
- (3) 農業用水の慣行水利権
- (4) 運用による渇水対策の検討・実施
- (5) 水利用に関する情報交換・水需要抑制を協議できる組織への改正

質問－3. 9

2

説明資料(第1稿)

- (1) 水需要の精査確認
 - ◆ 水需要実態の精査、確認

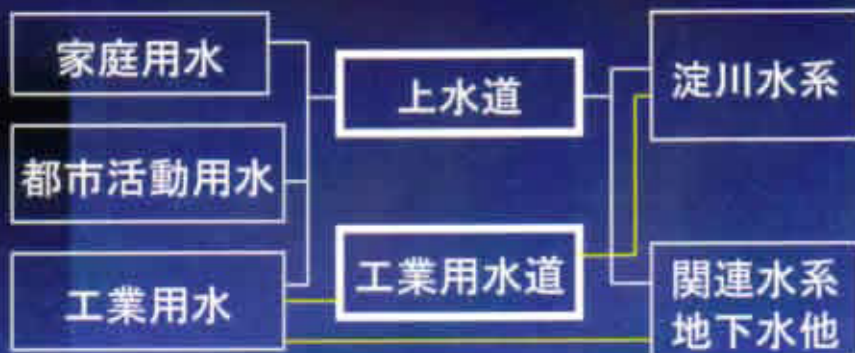
質問－41 意見－41, 43

3

水需要の精査、確認

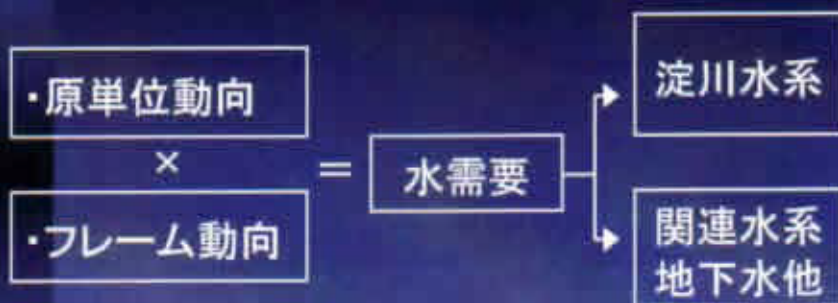
水需要

水源



4

水需要の精査、確認



5

水需要の精査・確認

◆上水道の給水量構成

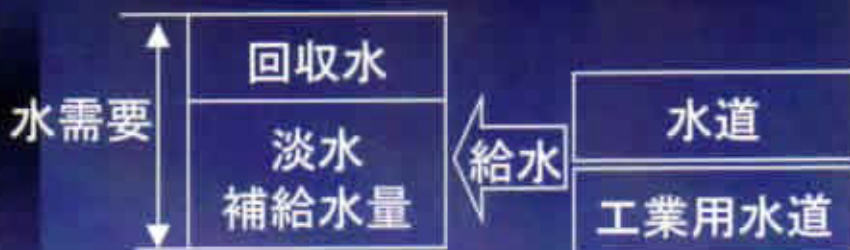


意見－41, 43

6

水需要の精査、確認

工業用水



7

説明資料(第1稿)

(2) 用途間転用に係る関係機関との調整

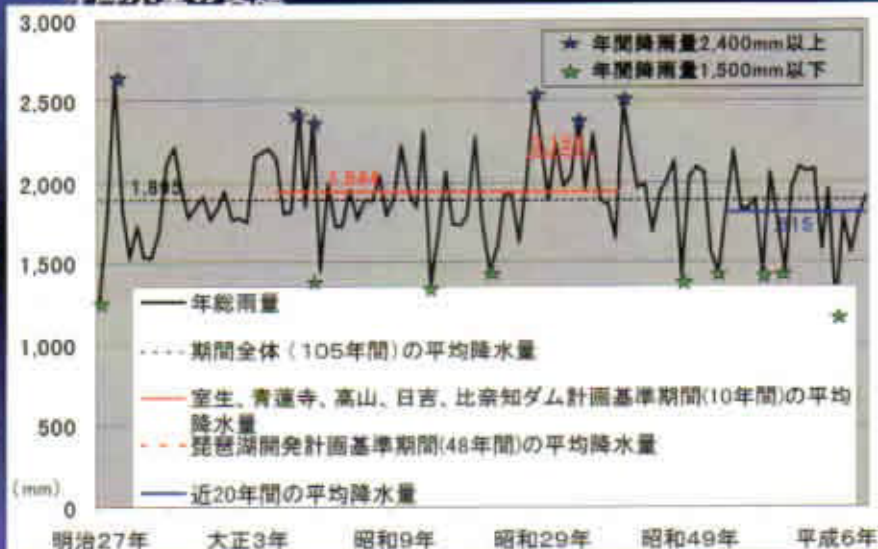
- ◆ 水源(供給能力)の精査、確認
- ◆ 余裕のある水源を転用
- ◆ 水資源開発施設の再配分(再編)

質問-43, 48

8

水資源は安定している？

年降水量の変遷



9

水資源開発施設の規模

- ダム計画は、戦後復興期の昭和20～30年代の最新水文資料を用い計画
- ダム規模は10年間を通して安全に取水するのに必要な容量を確保
- 容量の決定は、当時の計算機器(ソロバン)でも容易に算定できるよう、半旬流量を使用
- なお、現在も半旬流量を使用

※半旬流量：月を上旬・中旬・下旬のさらに半分に
分けた期間(5日間)の流量

【第7回委員会資料「淀川水系利水の現状と課題」】

10

供給できる水量は一定ではない

降雨量[計画当時] = R

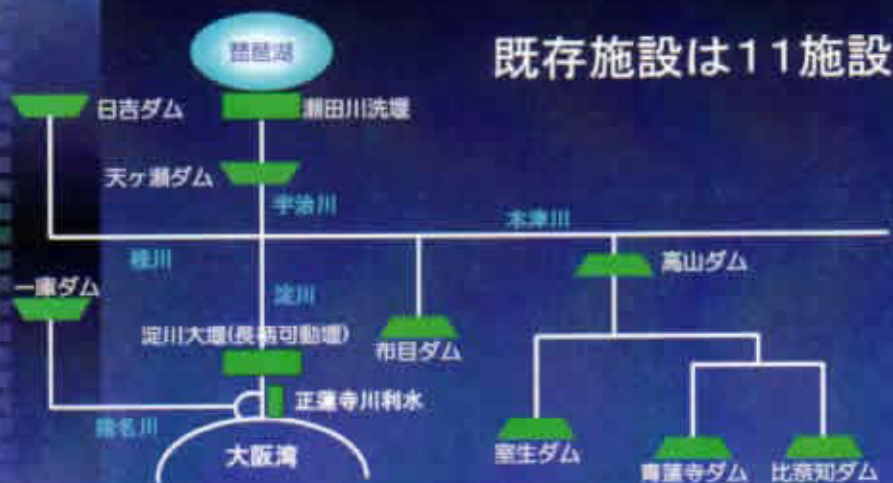
降雨量[渇水傾向] = r



水資源開発施設が供給できる水量は、
降雨の多少により変動する。

11

既設水資源開発施設



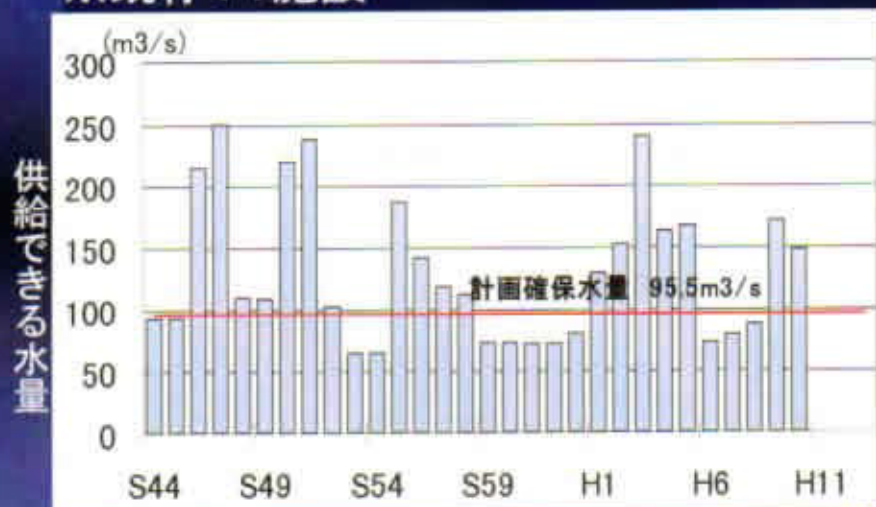
既存施設は11施設

【第7回委員会資料「淀川水系利水の現状と課題」】

12

淀川の状況は？(近年30年間)

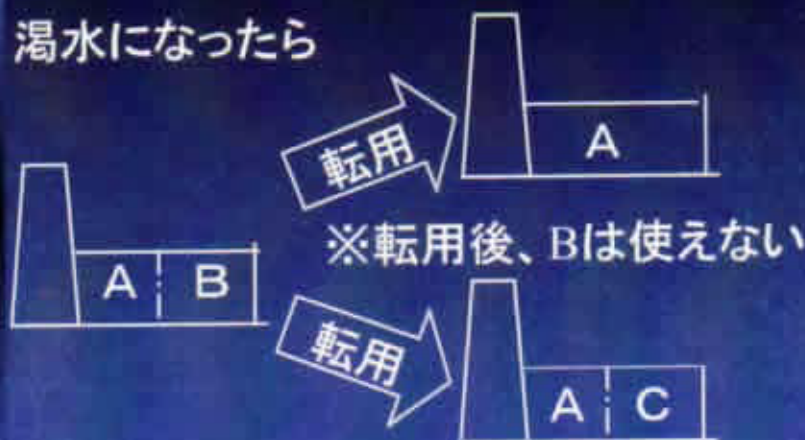
※既存11施設



13

水源(施設利用者)の転用

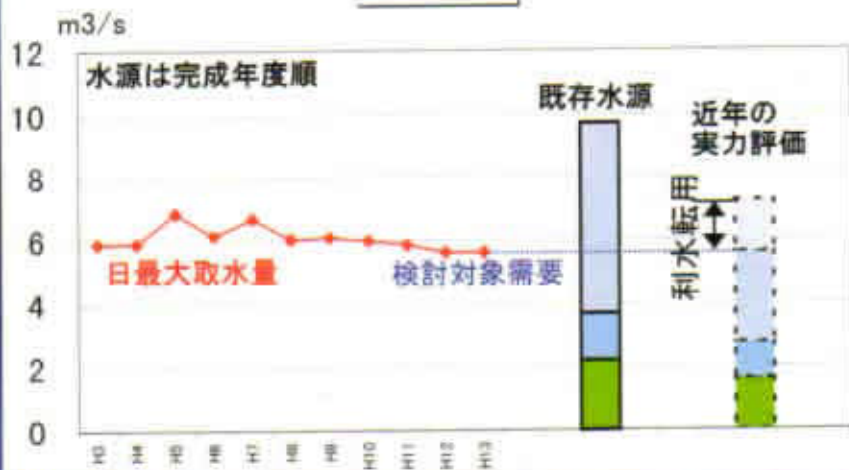
渇水になったら



14

用途間転用調整の基本的な考え方

ケース1



質問-52

15